

<ポイント> 数直線と絶対値

○数直線・・・0を基準として、右に正の数、左に負の数を表す。0のことを原点という。

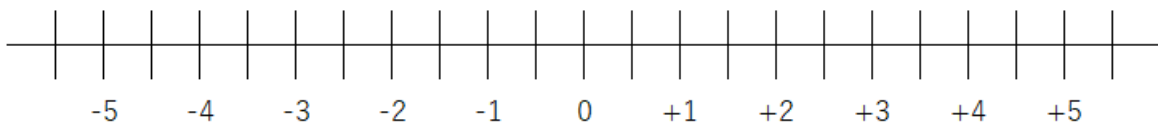
○絶対値・・・0からある数までの距離のことを絶対値という。絶対値には、+や-といった符号はつけてはいけない。

○正の数は0より大きく、絶対値が大きいほど、数として大きくなる。

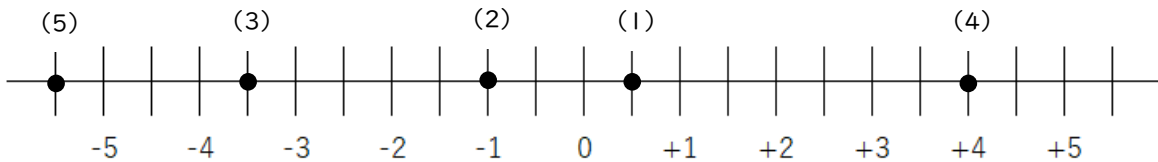
○負の数は0より小さく、絶対値が大きいほど、数としては小さくなる。

【1】次の数に対応する点を、下の数直線に書きなさい。

- (1) +3 (2) -2 (3) -4.5 (4) +5.5 (5) 0



(2) 下の数直線上の(1)～(5)に対応する数を答えなさい。



- (1) () (2) () (3) () (4) () (5) ()

(3) 次の数の絶対値を答えなさい。

- ① -2 () ② +5.1 () ③ 0 ()

(4) 次のカッコに当てはまる不等号を答えなさい。

- ① -3 () +4 ② -2.4 () +3.8 ③ -4.7 () -4.7